

一科名変更履歴等一

2013年度(平成25年度)まで歯科口腔外科、2014年度(平成26年度)から口腔外科

一概要一

- 『口腔がん・頭頸部がん』、『顎顔面形成外科』、『顎顔面外傷』、『顎顔面領域神経疾患』を専門外来として診療にあたり、病診連携、病病連携で、多くの紹介をいただき、診察・治療に当たっています。
- 特に『頭頸部がん』に関しては、他院さらに大学病院でさえ対応不可能な治療法を含め、非常に多くの治療法を備えており、未治療症例はもちろん、治療不可能と宣告された『がん難民』への有効な治療方法を遂行する、《あきらめない頭頸部がん治療》を実践しており、他府県からも多くの施設からの紹介を受けています。
- 『頭頸部がん』に対する「逆行性超選択的動注化学療法」は非常に特殊な技術であり、当科特有のテクニックと治療レジメンは、機能温存、短期入院期間などが評価され、ASCO(米国臨床腫瘍学会)、ESMO(欧州臨床腫瘍学会)でも数々の、もちろん国内学会でも数多くの発表を行っています。順行性に行う従来の「IVR」は当院放射線科で行っており、当科での「逆行性超選択的動注化学療法」と組み合わせた血管内治療を行うことのできる数少ない施設である。
- 「ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)」に関して、以前は京都大学複合原子力科学研究所(熊取町/旧 京都大学原子炉実験所)で我々のグループが世界で初めて頭頸部がんに対して実施し、以来国内外において多くの治療不可能といわれた頭頸部がん症例を救済してきました。現在京都大学複合原子力科学研究所では、BNCTは行っておらず、関西では「関西BNCT共同医療センター(高槻市)」のみで行っており、必要に応じて紹介しています。
- 『顎骨骨折/顎顔面外傷』は、複雑な咬合再構成を含むことが多く、歯科の知識と経験が必須で分野ではありますが、さらに『中・上顔面、頭蓋底に至る多発外傷・骨折』にも硬組織・軟組織の治療を当科で一貫して対応しています。
- 『唇顎口蓋裂』は、出生または紹介数日以内にはHotz床、NAM作成に取り掛かり、「口唇形成術」「口蓋形成術」「口唇修正術・鼻翼形成術」など唇顎口蓋裂の一貫治療を行っています。さらに『顎変形症』の「骨切り術」も各種行っており、幅広い対応が可能となっています。
- 入院手術は上記疾患群が主たるものですが、外来手術は毎日午後診で「埋伏智歯抜歯」をはじめとする小手術を行っています。当科での外来定型手術(抜歯、良性腫瘍摘出、歯根端切除ほか)は、初診から処置まで当日のみ(1時間程度)で完了する《即日処置》対応としており、患者さんの仕事や学業への支障を最小限にしています。
- 「歯科インプラント」に関しては上部構造作成まで当科で行っていますが、「人工歯根(FIXTURE)埋入術」のみ、「インプラント前の造骨術」のみなど、インプラント前処置だけ依頼いただくことも可能です。外傷、腫瘍手術による広範囲顎骨欠損に対するインプラント治療に関し、当科は健康保険適応可能な認定施設です。
- 『顎顔面神経性疾患』に関して、近年増加傾向の『舌痛症/口腔内灼熱症候群』、『非定型歯痛(非歯原性歯痛)・顔面痛』、『セネストパチー』、『味覚異常』症例など、“他院で診断/治療ができない”などの症例が、紹介の有無を問わず転院されています。必要に応じて、神経ブロック(三叉神経節星状神経節ブロック)なども行っています。
- 通常の歯科治療、障害者歯科治療、歯科矯正治療は対応していません。

一研究業績数一

	2011年度 (平成23年度)	2012年度 (平成24年度)	2013年度 (平成25年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度 令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	計
英文原著、 総説、著書	0	0	0	3	1	2	0	1	2	1	10
和文原著、 総説、著書	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	4
国際学会報告	0	4	4	4	1	1	0	2	1	1	18
国内学会報告	0	9	7	7	2	3	4	2	5	1	40
研究会・講演会	0	2	1	1	3	0	1	1	0	0	9
学術講演・講義	0	4	3	2	0	0	1	1	1	1	13
院内研究活動	0	2	2	3	1	0	0	1	0	0	9
座長	0	0	0	0	1	2	1	1	2	0	7
計	0	21	17	22	10	9	7	9	11	4	110

## 研究業績：診療局 口腔外科

### 平成24年度

#### (1) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	Effectiveness of Boron Neutron Capture Therapy for Recurrent or Radio-resistant Tumor in Head and Neck Region	I. Kato, Y. Fujita, M. Ohmae	Trilateral Meeting at KURRI, Kumatori, Japan	2011.5.20-21
2	当科における終末期口腔がん患者の輸液と栄養について	高岡洋生	第8回口腔外科栄養フォーラム	2011.9.10
3	BPA と BSH 併用群 vs BPA 単独群、分割照射群 vs 単回照射群の比較	加藤逸郎 藤田祐生 大前政利	第8回日本中性子捕捉療法学会 総会 長井記念ホール(徳島)	2011.9.16-17
4	リザーバーポート皮下設置によるADLの改善と外来動注化学療法	大前政利 藤田祐生 高岡洋生 加藤逸郎	第56回日本口腔外科学会総会・ 学術大会(大阪)	2011.10.21-23
5	口腔癌再発例に対するタキソテール併用シスプラチン選択動注化学療法の有効性	加藤逸郎 岩井聡一 大前政利	第56回日本口腔外科学会総会・ 学術大会(大阪)	2011.10.21-23
6	リザーバーポート皮下設置による頭頸部癌外来動注化学療法	大前政利 藤田祐生 高岡洋生 加藤逸郎	第49回日本癌治療学会学術集会 (名古屋)	2011.10.27-29
7	頭頸部悪性腫瘍に対するホウ素中性子捕捉療法の適応に関する研究	加藤逸郎 山本直典 藤田祐生 大前政利	第49回日本癌治療学会学術集会 (名古屋)	2011.10.27-29
8	Outpatient Intraarterial Chemotherapy of Head and Neck Cancer by Subcutaneous Implantation of Intraarterial Catheter and Infusion Reserver : A New Method of Chemotherapy Improving both Curative Effect and QoL	Masatoshi Ohmae, Y. Fujita, I. Kato, et al	3rd Trends of head and Neck Oncology(Rome, Italy)	2011.10.27-29
9	Boron Neutron Capture Therapy for Recurrent Head and Neck Cancer	I. Kato, Masatoshi Ohmae, Y. Fujita, et al	3rd Trends of head and Neck Oncology(Rome, Italy)	2011.10.27-29
10	動注によるホウ素中性子捕捉療法が著効した再発腺様嚢胞癌の一症例	大前政利 加藤逸郎 中澤光博	第57回口腔外科学会総会(横 浜)	2012.10.19
11	再発頭頸部悪性腫瘍におけるホウ素中性子捕捉療法の特徴	加藤逸郎 山本直典 藤田祐生 大前政利 岩井聡一 墨 哲郎 中澤光博 小野公二	第36回 日本頭頸部癌学会	2012.6.8
12	Boron Neutron Capture Therapy for Recurrent Head and Neck Malignancies	I. Kato, N. Yamamoto, Y. Fujita, M. Ohmae, Y. Sakurai, H. Kumada, Y. Imahori, I. Murata, T. Sumi, S. Iwai, M. Nakazawa, Y. Yura and K. Ono	15th International Conference for Neutron Capture Therapy	2012.9.14
13	頭頸部再発悪性腫瘍におけるホウ素中性子捕捉療法	加藤逸郎 山本直典 藤田祐生 岩上隆紀 大前政利 岩井聡一 墨 哲郎 中澤光博 小野公二	第57回日本口腔外科学会総会	2012.10.19
14	再発頭頸部悪性腫瘍におけるホウ素中性子捕捉療法	加藤逸郎 山本直典 藤田祐生 岩上隆紀 大前政利 岩井聡一 墨 哲郎 中澤光博 小野公二	第50回日本癌治療学会総会(横 浜)	2012.10.26
15	平成23年度以後の BNCT 症例	加藤逸郎 山本直典 藤田祐生 大前政利 櫻井良憲 熊田博明 岩井聡一 墨 哲郎 中澤光博 丸橋 晃 今堀良夫 丸橋 晃 切畑光統 小野公二	平成24年度京都大学原子炉実 験所専門研究会	2013.2.16

## (2) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	頭頸部がんの外来動注化学療法	大前政利	臨床集談会/りんくう総合医療センター	2011.9.22
2	こんな症状にピンときたら 正しく知って、正しく向き合う、口・顎・顔面の病気	大前政利	市民健康講座/りんくう総合医療センター	2012.11.19
3	口腔粘膜疾患と顎顔面領域神経疾患への対応	大前政利	大阪保険医協会/浪切ホール(岸和田市)	2012.2.8
4	がん周術期口腔ケア	大前政利	泉佐野泉南歯科医師会	2013.2.16

## (3) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	臨床集談会 当科における非定型顔面痛、舌痛症の診断と治療について	大前政利	2012.8.23
2	生活習慣病予防教室 糖尿病と歯周病	大前政利	2012.9.13



## 平成25年度

## (1) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	Clinical Results of BNCT for Patients with Recurrent Head and Neck Cancer	I. Kato, N. Yamamoto, Y. Fujita, M. Ohmae, et al	5th Trilateral Meeting on BNCT Research among KURRI, Taipei VGH and Tsing Hua University (Kyoto)	2013.4.6
2	Superselective intra-arterial chemotherapy for oral cancer by subcutaneous implantation of an intra-arterial catheter and an infusion reservoir: A new chemotherapy method to improve the quality of life and curative effect	Ohmae Masatoshi Kato Itsuro Nakazawa Mitsuhiro	ASCO 2013 (Chicago, USA)	2013.5.31-6.4
3	Superselective Intra-arterial Chemotherapy for Oral Cancer with Implanted Infusion Reservoir: A New Chemotherapy Method to Improve Both the Curative Effect and the Quouality of Life	Ohmae Masatoshi Kato Itsuro Nakazawa Mitsuhiro	IAOO 2013 (Rhodos, Greek)	2013.5.17-20
4	再発頭頸部がんにおけるホウ素中性子捕捉療法の有効性	加藤逸郎 山本直典 藤田祐生 大前政利 他	第67回日本口腔科学会学会学術集会(宇都宮)	2013.5.22-24
5	ホウ素中性子捕捉療法が著効した舌癌頭部再発の1例	鳴瀬智史 柳本惣市 梅田正博 加藤逸郎 大前政利 他	第67回日本口腔科学会学会学術集会(宇都宮)	2013.5.22-24
6	再発頭頸部がんにおけるホウ素中性子捕捉療法	加藤逸郎 山本直典 藤田祐生 岩上隆紀 大前政利 他	第37回 日本頭頸部癌学会(東京)	2013.6.13-15
7	頸部大動脈浸潤頭頸部がんに対するホウ素中性子捕捉療法に関するポジションペーパーの作成	大前政利 加藤逸郎 他	第10回日本中性子捕捉療法学会(岡山)	2013.9.7-8
8	再発頭頸部がんにおけるホウ素中性子捕捉療法の有効性	加藤逸郎 山本直典 藤田祐生 岩上隆紀 大前政利 他	第10回日本中性子捕捉療法学会総会	2013.9.7-8
9	治療法のない再発口腔癌に対するホウ素中性子捕捉療法の有効性	加藤逸郎 山本直典 藤田祐生 岩上隆紀 大前政利 他	第58回日本口腔外科学会総会	2013.10.11-13
10	治療法がない再発頭頸部悪性腫瘍に対するホウ素中性子捕捉療法の有効性	加藤逸郎 山本直典 藤田祐生 岩上隆紀 大前政利 鈴木 実 小野公二 他	第51回日本がん治療学会総会(京都)	2013.10.24-26
11	平成24年度以後のBNCT症例	加藤逸郎 山本直典 藤田祐生 大前政利 櫻井良憲 熊田博明 岩井聡一 墨 哲郎 中澤光博 丸橋 晃 今堀良夫 切畑光統 小野公二 他	平成25年度京都大学原子炉実験所専門研究会	2013.12.10-11

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
12	Boron Neutron Capture Therapy for Recurrent Head and Neck Malignancies Without Other Treatment Options	I. Kato, N. Yamamoto, Y. Fujita, M. Ohmae, Y. Sakurai, H. Kumada, I. Murata, H. Miyamaru, A. Maruhashi, M. Kirihata, Y. Imahori, M. Suzuki, M. Nakazawa, Y. K. Ono	6th Trilateral Meeting on BNCT Meeting between Taiwan and Japan (Taipei, Taiwan)	2013.12.13

## (2) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	周術期がん患者口腔ケアの実際	大前政利	貝塚歯科医師会(スターゲイトホテル)	2013.7.27
2	Boron Neutron Capture Therapy or Recurrent Head and Neck Malignancies Without Other Treatment Options.	I. Kato, N. Yamamoto, Y. Fujita, M. Ohmae, Y. Sakurai, M. Suzuki, I. Murata, H. Horiike, T. Sumi, S. Iwai, M. Nakazawa, and K. Ono	Seminar at Dept. of Radiation Oncology, Medical Hospital, Barcelona University, (Barcelona, Spain)	2013.9.25
3	口腔粘膜疾患と疼痛・神経疾患の鑑別と対応	大前政利	大阪保険医協会(浪切ホール)	2014.2.13

## (3) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	臨床集談会 『口腔粘膜疾患と舌痛症』	大前政利	2013.8.22
2	生活習慣病 『糖尿病と枝種苗』	大前政利	2013.10.10

## 平成26年度

### 1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	The effect of proteolytic enzyme-containing gargling agents on severe stomatitis caused by therapy for head and neck cancer	OHMAE, Masatoshi KATO, Itsuro NAKAZAWA, Mitsuhiro	J Clin Oncol	32:5s, (suppl; abstr)	6051	2014
2	Boron neutron capture therapy in patients with recurrent head and neck cancers who have no other treatment options	I Kato, Y Fujita, M Ohmae, Y Sakurai, M Suzuki, S Masunaga, I Murata, T Sumi, M Nakazawa, K Ono	J Clin Oncol	32:5s, (suppl; abstr)	6046	2014
3	小切開小剥離 下顎智歯抜歯のススメ	大前政利	大阪府歯科医師会 雑誌	2014.11月号	50-52	2014
4	Clinical Studies on BNCT for 9 Cases of Head and Neck Cancer	I. Kato, N. T. Iwagami, N. Yamamoto, Y. Fujita, M. Ohmae, M. Suzuki, S. Masunaga, M. Nakazawa, T. Sumi, A. Maruhashi and K. Ono	KURRI Progress Report 2013, in press			2014

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
5	治療法のない再発口腔がんに対するホウ素中性子捕捉療法の有用性	加藤逸郎 岩上隆紀 山本直典 藤田祐生 大前政利 今井智章 千足浩久 墨 哲郎 中澤光博 小野公二 鈴木 実	定位放射線治療	Vol. 19	15-25	2015

(2) 学会研究会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	『有効な治療法がない再発頭頸部癌患者に対するホウ素中性子捕捉療法の有用性』	加藤逸郎 多田晋也 岩上隆紀 山本直典 藤田祐生 大前政利 櫻井良憲 墨 哲郎 中澤光博 今井智章 岩井聡一 鈴木 実 由良義明	第68回日本口腔科学会学術集会(東京)	2014.5.7-9
2	『再発頭頸部癌患者に対するホウ素中性子捕捉療法の適応と有効性について』	加藤逸郎 多田晋也 岩上隆紀 山本直典 藤田祐生 大前政利 千足浩久 墨 哲郎 中澤光博 今井智章 岩井聡一 鈴木 実 小野公二 由良義明	第68回日本口腔科学会学術集会(東京)	2014.5.8
3	The effect of proteolytic enzyme-containing gargling agents on severe stomatitis caused by therapy for head and neck cancer	OHMAE, Masatoshi KATO, Itsuro NAKAZAWA, Mitsuhiro	2014 ASCO Annual Meeting McCormick Place, Chicago, Illinois, USA IAOO 2013 (Rhodos, Greek)	May.30 -June.3.2014
4	Boron neutron capture therapy in patients with recurrent head and neck cancers who have no other treatment options.	I Kato, Y Fujita, M Ohmae, Y Sakurai, M Suzuki, S Masunaga, I Murata, T Sumi, M Nakazawa, K Ono;	2014 ASCO Annual Meeting McCormick Place, Chicago, Illinois, USA	May 30 -June.3.2014
5	Assessment of Carotid Incvasion of Head and Neck Cancer to be Treted with Boron Neutron Capture Therapy	Masatoshi Ohmae, Itsuro Kato, Teruhito Aihara, Minoru Suzuki, Koji Ono	16th ICTNCT 2014	June 14-19, at Helsinki, Finland
6	Boron Neutron Capture Therapy in Patients with Recurrent Head and Neck Cancers Who Have No Other Treatment Options	I. Kato, T. Iwagami, Y. Fujita, M. Ohmae, Y. Sakrai, M. Suzuki, I. Murata, T. Sumi, S. Iwai, M. Nakazawa, Yoshiaki Yura, K. Ono	16th ICTNCT 2014	June 14-19, at Helsinki, Finland
7	有効な治療法がない再発口腔がん患者に対するホウ素中性子捕捉療法の有用性	加藤逸郎 多田晋也 岩上隆紀 山本直典 藤田祐生 大前政利 櫻井良憲 墨 哲郎 中澤光博 今井智章 岩井聡一 村田 勲 小野公二 鈴木 実 由良義明	第23回日本定位放射線治療学会(ナレッジキャピタルCC、大阪)	2014.7.5-6

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
8	有効な治療のない再発頭頸部癌患者に対するホウ素中性子捕捉療法の有用性	加藤逸郎 多田晋也 岩上隆紀 山本直典 藤田祐生 大前政利 櫻井良憲 墨 哲郎 中澤光博 今井智章 岩井聡一 村田 勲 小野公二 鈴木 実 由良義明	第11回日本中性子捕捉療法学会学術大会(大阪大阪大学コンベンションセンター)	2014.7.5-6
9	中性子捕捉療法が奏功した再発下顎歯肉癌の一例	内田堅一郎 宮本寿太郎 松村真由美 真野隆充 加藤逸郎 大前政利 鈴木 実 上山吉哉	第11回日本中性子捕捉療法学会学術大会(大阪大学コンベンションセンター)	2014.7.5-6
10	舌癌頸部再発および肺遠隔転移に対するホウ素中性子捕捉療法の使用経験	鳴瀬智史 柳本惣市 山田慎一 川北晃子 梅田正博 加藤逸郎 由良義明 大前政利	第11回日本中性子捕捉療法学会学術大会(大阪大学コンベンションセンター)	2014.7.5-6
11	治療のない再発頭頸部がん患者に対するホウ素中性子捕捉療法の有効性	加藤逸郎 多田晋也 岩上隆紀 山本直典 藤田祐生 大前政利 千足浩久 墨 哲郎 中澤光博 岩井聡一 由良義明 小野公二 鈴木 実	第52回日本癌治療学会総会(横浜パシフィコ)	2014.8.28-30
12	平成23年度以後のBNCT症例	加藤逸郎 山本直典 藤田祐生 大前政利 櫻井良憲 熊田博明 岩井聡一 墨 哲郎 中澤光博 丸橋 晃 今堀良夫 切畑光統 小野公二	平成26年度京都大学原子炉実験所専門研究会 事務棟大会議室(熊取町)	2014.9.29-30

### (3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	三文得する口腔疾患の知識 —口腔顎顔面の病気と癌の話—	大前政利	阪南市学校保健会総会 阪南市商工会議所(阪南市)	2014.7.31
2	頭頸部癌の諦めない癌治療	大前政利	口腔外科粒子線・BNCTコンソーシアム 幕張メッセ(千葉)	2014.10.18

### (4) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	研修医オリエンテーション	大前政利	2014.4.3
2	生活習慣病『糖尿病と肢種苗』	大前政利	2014.6.5
3	臨床集談会「ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)の現状」	大前政利	2014.9.25

## 平成27年度

### (1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Clinical Studies on BNCT for 6 Cases of Head and Neck Cancer	I. Kato, T. Iwagami, N. Yamamoto, Y. Fujita, M. Ohmae, M. Suzuki, S. Masunaga, M. Nakazawa, T. Sumi, S. Iwai, A. Maruhashi and K. Ono	KURRI Progress Report 2014		84	2015



## (2) 和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	治療のない再発口腔がんに対するホウ素中性子捕捉療法の有効性	加藤逸郎 岩上隆紀 山本直典 藤田祐生 大前政利 今井智章 千足浩久 墨 哲郎 中澤光博 小野公二 鈴木 実	定位的放射線治療	19(1)	15-25	2015
2	再発転移口腔扁平上皮癌に対する Cetuximab+Paclitaxel併用療法の効果	竹下彰範 大前政利 他	日本癌治療学会誌	50(3)	2379-2379	2015

## (3) 国際学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Outpatient intra-arterial chemotherapy for oral cancer by subcutaneous implantation of a catheter and reservoir: A new chemotherapy method to improve the quality of life and curative effect	Masatoshi Ohmae, Yusei Fujita, Hiroo Takaoka, Noritoshi Meshii, Itsuro Kato, Mitsuhiro Nakazawa	ECCO18.ESMO40	Poster	2015.9.25-29

## (4) 国内学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	治療のない難治性頭頸部非扁平上皮がん患者に対するホウ素中性子捕捉療法	加藤逸郎 岩上隆紀 山本直典 藤田祐生 大前政利 墨 哲郎 岩井聡一 中澤光博 村田 勲 櫻井良憲 増永慎一郎 丸橋 晃 小野公二 鈴木 実 由良義明	第12回日本中性子捕捉療法学会学術大会	口演	2015.9.4-5
2	治療のない再発頭頸部がん患者に対するホウ素中性子捕捉療法	加藤逸郎 岩上隆紀 山本直典 藤田祐生 大前政利 村田 勲 岩井聡一 墨 哲郎 中澤光博 小野公二 鈴木 実 由良義明	第53日本癌治療学会学術集会	口演	2015.10.29-31
3	再発転移性口腔扁平上皮癌に対する Cetuximab+Paclitaxel 併用化学療法の効果	竹下彰範 大前政利 他	第53回日本癌治療学会	ポスター	2015.10.29

## (5) 研究会・講演会

番号整理	演題	発表者	研究会名	年月日
1	頭頸部のあきらめない癌治療	大前政利	泉佐野泉南薬剤師会 第178回勉強会	2015.4.9
2	あきらめない頭頸部がん治療	大前政利	第4回泉州がん医療フォーラム	2015.9.6
3	リザーバー皮下留置による頭頸部癌の外來動注化学療法	大前政利 加藤逸郎 中澤光博	第40回リザーバー研究会	2015.11.27

## (6) 院内研究活動

番号整理	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	頭頸部癌の超選択的動注化学療法	大前政利	臨床集談会	2016.1.18

## (7) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	講演セッション『一般演題』	大前政利	第12回口腔外科栄養フォーラム	2015.9.6



## 平成28年度

## (1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Immunogenic cell death by oncolytic herpes simplex virus type 1 in squamous cell carcinoma cells	Takasu, A., Masui, A., Hamada, M., Iwai, S., Yura, Y.	Cancer Gene Therapy doi:10.1038/cgt2016.8	23	107-113	2016

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
2	Autophagy as a Survival Mechanism for Squamous Cell Carcinoma in Endonuclease G-Mediated Apoptosis	Masui, A., Hamada, M., Kameyama, H., Wakabayashi, K., Takasu, A., Imai, T., Iwai, S., Yura, Y.	PLOS ONE doi:10.1371/journal. Pone.0162786	22	e0162786	2016

(2) 和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	舌下神経麻痺を契機に見られた転移性脳腫瘍の1例	濱田正和 高須彩子 亀山裕泰 奥長秀介 由良義明	日本口腔科学会雑誌	65	287-290	2016

(3) 国際学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Boron neutron capture therapy in non-SCC patients with intractable head and neck malignancies who have no other treatment options	I. Kato, Y. Fujita, N. Yamamoto, M. Ohmae, Y. Sakurai, M. Suzuki, S. Masunaga, I. Murata, M. Nakazawa, K. Ono	The 17 th International Congress on Neutron Capture/ Columbia, Missouri, USA	Oral	2016.10.2-7

(4) 国内学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	治療法のない再発口腔がん患者に対するホウ素中性子捕捉療法	加藤逸郎 岩上隆起 山本直典 藤田祐生 大前政利 墨 哲郎 中澤光博 村田 勲 櫻井良憲 増永慎一郎 丸橋 晃 小野公二 鈴木 実	大阪大学歯学会 第122回例会	口演	2016.7.14
2	治療法のない難治性頭頸部非扁平上皮がん患者に対するホウ素中性子捕捉療法	加藤逸郎 岩上隆起 山本直典 藤田祐生 大前政利 墨 哲郎 中澤光博 村田 勲 櫻井良憲 増永慎一郎 丸橋 晃 小野公二 鈴木 実	第54回日本癌治療学会学術 集会 ミニシンポジウム28 頭 頸・口腔1:頭頸部がんに対す る新規放射線治療の展望	口演	2016.10.20-22
3	自然排出した顎下腺導管移行部唾石症の1例	加戸聖也 濱田正和 高須彩子 岸本聡子 古川禎伸	第28回口腔科学会近畿地方会	口演	2016.12.10

(5) 研究会・講演会

番号整理	演題	発表者	研究会名	年月日
1	頭頸部癌のあきらめない癌治療	大前政利	第3回口腔外科粒子線・BNCT研究会	2016.4.16

(6) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	講演セッション『一般演題』	大前政利	第12回口腔外科栄養フォーラム	2016.9.10
2	一般演題(ポスター18)『悪性腫瘍 症例2』	大前政利	第61回日本口腔外科学会総会・学術大会	2016.11.25

平成29年度

(1) 和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	難治性再発口腔癌に対して温熱療法+高圧酸素療法併用化学療法、放射線再照射が奏効した症例	加藤逸郎, 大前政利, 他	Thermal Medicine.	33(Suppl.)	153-153	2017

(2) 国内学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	難治性再発口腔癌に対して温熱療法+高圧酸素療法併用化学療法、放射線再照射が奏効した症例	加藤逸郎 今田 肇 大前政利 堀 篤史 中澤光博 今井智章 増永慎一郎	第34回日本ハイパーサーミア 学会(京都)	ポスター	2017.9.15-16



番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
2	治療のない再発頭頸部がん患者45例に対するホウ素中性子捕捉療法	加藤逸郎 岩上隆紀 山本直典 藤田祐生 大前政利 村田 勲 中澤光博 鈴木 実 小野公二	第14回日本中性子捕捉療法学会(郡山)	ポスター	2017.9.29-30
3	治療のない再発頭頸部がん患者45例に対するホウ素中性子捕捉療法	加藤逸郎 岩上隆紀 山本直典 藤田祐生 大前政利 村田 勲 岩井聡一 墨 哲郎 中澤光博 鈴木 実 小野公二	第55回日本癌治療学会総会(横浜)	口演	2017.10.20-22
4	当科におけるリザーバーを用いた選択動注化学放射線療法の治療成績	加藤逸郎 大前政利 竹下彰範 飯井孝年 今井智章 岩井聡一 中澤光博 鶴澤成一	第36回日本口腔腫瘍学会総会	口演	2018.1.24-25
5	当科におけるリザーバーを用いた選択動注化学放射線療法の治療成績	加藤逸郎 大前政利 竹下彰範 飯井孝年 今井智章 岩井聡一 中澤光博 鶴澤成一	第36回日本口腔腫瘍学会総会	口演	2018.1.24-25

(3) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研究会名	年 月 日
1	ステージII,III 口腔癌に対する放射線治療を併用しない外来動注化学療法	大前政利 藤田祐生 高岡洋生 飯井孝年 高須彩子 加藤逸郎 中澤光博	第42回リザーバー研究会	2017.9.1-2

(4) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	Boron neutron capture therapy in patients with recurrent head and neck malignancies who have no other treatment options	Itsuro Kato, Yusei Fujita, Masatoshi Ohmae, Yoshinori Sakurai, Minoru Suzuki, Shin-ichiro Masunaga, Isao Murata, Tetsuro Sumi, Mitsuhiro Nakazawa, Koji Ono	Current Clinical Status of Boron Neutron Capture Therapy and Paths to the Future	2017.9.9-10

(5) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	第13回口腔外科栄養フォーラム 一般講演	大前政利	第13回口腔外科栄養フォーラム	2017.9.9



平成30年度

(1) 英文原著, 総説, 著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	Surgical approaches for condylar fractures related to facial nerve injury: Deep versus superficial dissection routes	Tomoaki Imai, Ayako Motoki, Soichi Iwai, Masatoshi Ohmae, et al.	Int J Oral Maxillofac Surg.	2019 Mar 1. pii: S0901-5027(19)30067-0. doi: 10.1016.j.ijom.2019.02.003.

(2) 国際学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	Treatment of Major Cervical Artery Invasion of Head and Neck Cancer with Boron Neutron Capture Therapy	Masatoshi Ohmae, et al.	18th International Conference of Neutron Capture Therapy(Taipei, Taiwan)	POSTER	2018.10.28-11.2
2	Boron neutron capture therapy in 45patients with recurrent head and neck cancers who have no other treatment optionns	Itsuro Kato, Masatoshi Ohmae, et al.	18th International Conference of Neutron Capture Therapy(Taipei, Taiwan)	POSTER	2018.10.28-11.2

(3) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	口腔癌における選択動注化学放射線療法の治療成績	加藤逸郎,大前政利,岩井聡一, など	第72回日本口腔科学会(名古屋)	口演	2018.5.11-13
2	下顎枝後方切開を伴う関節突起骨折手術症例の臨床的検討:耳下腺経路で分類する3術式	今井智章,元木彩子,岩井聡一,大前政利, など	第63回日本口腔外科学会総会(幕張)	口演	2018.11.2-4

## (4) 研究会・講演会

番号整理	演題	発表者	研究会名	年月日
1	多芸・多才なりんくう口腔外科	大前政利	第3回 りんくうメディカルフォーラム	2018.4.21

## (5) 学術講演・講義


番号整理	演題	発表者	学術講演会名	年月日
1	泉佐野泉南医師会看護学校	大前政利	成人看護学「歯・口腔」	2018.9.10 2018.10.15

## (6) 院内研究活動

番号整理	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	りんくうメッセージー口腔外科ー	大前政利	りんくうメッセージ	2018.9.3

## (7) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	一般演題	大前政利	口腔外科栄養フォーラム	2018.9.15

 平成31年度・令和元年度

## (1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	“High-dose, short-duration, intra-arterial cisplatin therapy for oral cancer”	Masatoshi Ohmae, et al.	J Clin. Oncol. Vol 37, No 15_suppl (May 20 Supplement), 2019: 6038-6038	2019 Mar 1. pii:S0901-5027(19)30067-0. doi:10.1016/j.ijom. 2019.02.003.
2	Surgical approaches for condylar fractures related to facial nerve injury: deep versus superficial dissection	Imai T, Motoki A, Ohmae M, et al.	Int J Oral Maxillofac Surg	48:1227-1234, 2019

## (2) 和文原著、総説、著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	口腔癌患者に対する化学療法一手術待機期間を利用したS-1による化学療法	松宮由香,大前政利,他	癌と化学療法	46(6):1027-1031, 2019
2	顎下腺唾石症として経過観察されていた石灰化と骨形成を伴う顎下腺悪性腫瘍の1例	藤田祐生,大前政利,他	口腔外科学会雑誌	Vol.65No.7,2019

## (3) 国際学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	“High-dose, short-duration, intra-arterial cisplatin therapy for oral cancer”	Masatoshi Ohmae, Ayako Motoki, et al.	American Society of Clinical Oncology(ASCO) Annual Meeting	POSTER	2019.5.31-6.4

## (4) 国内学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	短期高用量動注化学療法の有用性	大前政利,元木彩子,他	第43回日本頭頸部癌学会(金沢)	ポスター	2019.6.13-14
2	口腔癌に対する高用量・短期シスプラチン動注化学療法の有用性	大前政利,元木彩子,他	第64回日本口腔外科学会学術集会(札幌)	口演	2019.11.2-4
3	『浅側頭動脈カテーテル留置術の手技及び原発巣及び転移リンパ節に対する治療について』	加藤逸郎,大前政利,他	第64回日本口腔外科学会学術集会(札幌)	口演 (ミニレクチャー)	2019.11.2-4
4	関節突起骨折に対する経皮的アプローチ簡易分類の提案:顔面神経麻痺リスクの層別化	今井智章,大前政利,他	第64回日本口腔外科学会学術集会(札幌)	口演	2019.11.2-4
5	口腔癌に対する高用量・短期シスプラチン動注化学療法の有用性	大前政利,元木彩子,他	第38回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会(東京)	口演	2020.1.23-24

## (5) 学術講演・講義

番号整理	演題	発表者	学術講演会名	年月日
1	泉佐野泉南医師会看護学校	大前政利	成人看護学「歯・口腔」	2019.9.2 2019.9.9

## (6) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	一般演題	大前政利	第16回口腔外科栄養フォーラム	2019.9.14
2	ポスター8/『悪性腫瘍・症例2』(ポスター討論)	大前政利	第64回日本口腔外科学会学術集会(札幌)	2019.10.25

 令和2年度

## (1) 英文原著、総説、著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	A novel multiple-catheter implantation method for advanced head and neck cancer	Masatoshi Ohmae, Noritoshi Meshij, Ayako Motoki, et al	Journal of Clinical Oncology(JOC)	38(15),2020

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
2	Longitudinal study of risk for facial nerve injury in mandibular condyle fracture surgery: marginal mandibular branch-traversing classification of percutaneous approaches	Imai T, <u>Motoki A</u> , <u>Ohmae M</u> , et al.	Clinical Oral Investigations. 4	24(4):1445-1454, 2020

(2) 和文原著、総説、著書

整理番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	入院下に埋伏智歯抜歯を行ったグルコーストランスポーター1欠損症患者の1例	元木彩子, 他	口腔外科学会雑誌	66(8): 366-370:2020

(3) 国際学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	A novel multiple-catheter implantation method for advanced head and neck cancer	Masatoshi Ohmae, Itsuro Kato, Yusei Fujita, Noritoshi Meshii, Ayako Motoki, Mitsuhiro Nakazawa, Narikazu Uzawa	American Society of Clinical Oncology (ASCO)(Web開催)	poster	2020.5.29-6.2

(4) 国内学会報告

整理番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	超選択的動注化学(放射線)療法により治癒した頸部リンパ節転移を伴う口腔癌症例の検討	加藤逸郎, <u>大前政利</u> , 他	第74回日本口腔科学会学会学術大会	口演	2020.4.15-17

(5) 学術講演・講義

整理番号	演題	発表者	学術講演会名	年月日
1	成人看護学(歯・口腔)	大前政利	泉佐野泉南医師会立看護学校	2020.11.02 2020.11.30